

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2019

1

平成31年1月1日

No.6-6-2



気分は寿司屋の大将

埴幼稚園のお店ごっこが、12月14日（金）に同園で行われました。各部屋には射的やボウリング、フードコートなどのお店があり、園児自身が店員となって、お客さんをもてなしていました。このお店では、おいしいそうなお寿司を並べた大将が「へい！いらっしやい！」と大きな声で来店を呼びかけていました。

Contents (主な内容)

町長・議長年頭のごあいさつ … P 2～3

埴町のコメがペットボトルで販売開始 … P 4

青少年の主張大会最優秀作品 … P 6～8

町民の代弁者として
広く意見を聞き
物事の本質を見極める

埴町議会議長
大縄 武夫
Onawa Takeo



新年おめでとうございます。
平成最後の31年の新春を迎え、埴町議会を代表し、町民の皆さまのご健勝を心からお慶び申し上げます。町民の皆さまには、平素から格別のご支援ご協力を賜り感謝を申し上げます。

本町議会では、平成28年7月に議員定数等検討協議会を設置し、本町の議員定数および議員報酬のあり方を検討してまいりましたが、町民の皆さまのご意見などを参考とし、先の12月定例会で議員定数および報酬を見直しました。全国的な地方議員のなり手不足が深刻化している中で、本町議会は議員のなり手不足とはなっていないとの認識ですが、本町の急激な人口減少を鑑み、

議員定数を削減することは、時代の流れであると考えるところです。議員の人数は減りましたが、今後も議会基本条例に基づき、町民の代弁者として広く意見をお聴きし、物事の本質を見極め、町全体を考えて行動していく所存であります。

また昨年、福島県立埴工業高等学校の存続に関する調査特別委員会を立ち上げ、現在も調査検討しております。生徒がスペースバルーンを打ち上げ、成層圏から地球の撮影に成功する快挙を成し遂げるなど、高い指導力で優秀な人材を輩出する学校は、埴町のみならず東白川郡内でも貴重な存在であるため、今後はさらに議論を深めてまいります。

さて、昨年埴町では、少子化対策として「はなわこども園(仮称)」の建築工事が来年4月の開園に向け、また「子育て若者定住促進住宅団地」の造成工事が、本年3月の完成および分譲販売に向け事業が進められており、本町議会としてもこのプロジェクトによって、活気ある埴町になることを期待しているところであります。

議会では、昨年11月に総務および経済常任委員会合同の視察研修をいたしました。秋田県横手市では、ペースバルーンを使った、高校生初の地球(宇宙)撮影の成功、和太鼓部の全国大会5位入賞など輝かしい成果をあげています。町民のさまざまな応援に応える見事な活躍と言えます。今後もしっかりと応援していきたいと思っております。

以上、当面する町の施策の一端を申し上げますが、町の財政は、依然として地方交付税、国庫補助金、地方債など町税以外の財源に依存した構造となっております。今後も、国・県の動向を注視しながら、効率的かつ計画的な財政運営に努め、町民の皆さまとの対話を基本としながら、各事業・施策を一つ一つ確実に進めて、町民福祉の向上と町発展のため、さらに邁進してまいりますので、皆さまには、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

町民の皆さまと対話し
福祉の向上と町発展のため
さらに邁進してまいります

埴町長
宮田 秀利
Miyata Hidetoshi



明けましておめでとうございます。
町民の皆さまの輝かしい新年の門出を、心よりお慶び申し上げます。また、平素からの町政への温かいご支援とご協力に、心より感謝を申し上げます。皆さまのおかげをもちまして、着実にまちづくりが進んでいることを、改めて、衷心より御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、こども園の設計が完了し、工事の発注ができました。町の未来を担う子どもたちのために、来年4月の開園に向けての準備を着々と進めてまいります。また、末広町地内に整備中である「子育て若者定住促進住宅団地」も、購入希望者への土地購入費と住宅建築費の助成金制度を整え、本年4月の販売開始に向けて、進行中であります。多くの子育て世代が、町に定住してくれることを

期待するとともに、今後も定住促進に力を注いでいきたいと思えます。

さらに、敬老会は町主体のものと行政主体のもので行ってきました。行政主体の地域敬老行事には、その参加のしやすさから、今まで敬老会に参加しなかった方々にも数多くご出席をいただくようになり、地域をあげて人生の先輩方を敬う「敬老」という本来の姿を取り戻してきたと感じております。今後も、参加者が増えるように企画してまいりたいと思えます。また、高齢者対策として、一人暮らしの高齢者の方が増加しておりますので、そのような方々のプライバシーを確保しつつ、楽しく共同生活を送れるような「シェアハウス」の検討に着手します。

新しい生活支援が、介護予防や認知症予防の一助になればと考えております。

そして、埴町の名前が全国的に広まるうとしております。一つ目はダリアであります。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で、大会会場などを埴産のダリアで飾る働きかけを行っています。町と議会が連携して、東京都知事、都議会議員とも話をしてきました。実現すれば、埴町にはもちろんのこと、生産者の皆さまにも大きな励みになることは間違いありません。実現に向けて努力してまいります。

二つ目は、埴工業高校の活躍です。全国ロボット競技大会でベスト16、ス

ペースバルーンを使った、高校生初の地球(宇宙)撮影の成功、和太鼓部の全国大会5位入賞など輝かしい成果をあげています。町民のさまざまな応援に応える見事な活躍と言えます。今後もしっかりと応援していきたいと思っております。

以上、当面する町の施策の一端を申し上げますが、町の財政は、依然として地方交付税、国庫補助金、地方債など町税以外の財源に依存した構造となっております。今後も、国・県の動向を注視しながら、効率的かつ計画的な財政運営に努め、町民の皆さまとの対話を基本としながら、各事業・施策を一つ一つ確実に進めて、町民福祉の向上と町発展のため、さらに邁進してまいりますので、皆さまには、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埴町の限らない発展と、本年が、町民の皆さまにとりまして素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとします。本年も、どうぞよろしく申し上げます。

年頭の ごあいさつ

町長・議長

全国的にも珍しい自動販売機での販売がスタート



新しいカタチの埴町自慢のコメ。持ち運びや保存にも便利なペットボトルで販売が開始されました

首都圏のニーズに合わせ 小分け（300g）で販売

一般財団法人天領の郷はなわは、自慢のコメをペットボトルに入れ、自動販売機での販売を開始しました。販売場所は、毎月1回、町の物産直売イベントを行っている東京練馬区の春日町本通りの店舗前。自動販売機を設置し、来店者などに町の農産物の魅力を発信します。

「ダリア工房」と連携

販売機を設置し、販売が開始されました。商品名は「自然派はなわ米」。ロゴには「870（はなわ）」をあしらって、無洗米、玄米とも竹パウダー農法で育てたコシヒカリが500円、通常のコシヒカリが400円で販売されています。（内容量はいずれも300g）。



11月28日（水）に稼働した自動販売機（左は宮田町長、右は春日町本通り商店会の小泉会長）

これまで、さまざまなイベントなどでもキロ単位のコメの販売をしてきましたが、単身者や、徒歩や電車での移動が多い首都圏では「持ち帰りづらい」、「食べきれない」という現状がありました。このため、持ち運びに便利で、冷蔵庫での保存にも便利なペットボトルに着目。11月28日（水）に、春日町本通りの店舗前に冷蔵機能があるコメ専用の自動

自動販売機で販売されている「自然派はなわ米」の製造は、障がい者福祉施設「ダリア工房」と連携して行われています。ペットボトルにコメを詰め、ラベルを貼り、キャップを取り付ける作業を依頼することで「農業」と「福祉」の連携を目指します。この「農福連携」は、担い手の高齢化と減少が進む農業分野と、働く場の確保を求める福祉分野の連携を目指す取り組みです。



ダリア工房 所長 石井祐子さん

利用者さんもできる仕事が増えて、一生懸命頑張っています。難しいと思った「農福連携」に参入でき、利用者さんの工賃アップにつながり、とても感謝しています。今後「農福連携」が広がっていけばとても嬉しいです。



ラベルを貼って完成。午前中で約90%のコメを詰めます。この日作業を担当した鈴木聡子さん（左）と青砥将太さん（右）



ダリア工房での作業風景。計量したコメをペットボトルに詰めます（手前）。その後、キャップを取り付けます（奥）

売することにより、町の魅力を発信し、さらには「農福連携」につながることで、地域の活性化も期待されます。

二本松市で花屋を営む近美豪人さん（左）のご紹介でクリスマスアートプロジェクトに参加できました



地域おこし協力隊体験記 Kawamura × Arimura

ダリアが美しく咲き誇る秋も過ぎ、12月はダリア生産現場も地味な作業に入っていきます。と通常はこのようですが、今年には盛大なクリスマススイベントに、私たちのダリアを使っていたことができました！

クリスマスアートプロジェクト

場所は、郡山駅のエスパル。二本松市で花屋を営む近美豪人さんのご紹介で、ダリアをおよそ500本送り、一般のお客さんに好きなダリアを壁に挿してもらって、大きなフラワーウォールの作品を完成させるイベントです。



とても評判がよかったというはなわのダリア。多くの人に楽しんでいただくことができました

「ダリアへの反応は大変良かったです。埴町のダリアについては、皆さんかなり知っているよ

エスパル（郡山市）で行われたクリスマスアートプロジェクト。一般のお客さんの手ではなわのダリアを使ったフラワーウォールが完成しました

うでしたよ」と、お客さんの反応について話す近美さん。その中でも印象に残ったのが「いろいろな色の中から、お母さんと子どもが悩んだ末にやっと選んだのが、白だったこと」だそうです。「私の予想に反して白のダリアの人氣が高かったです。そして、何とんでも大輪のインパクトが凄かった！」。近美さんは、一昨年のダリアの華展（池袋）で、創作パフォーマンスをされています。ダリアの豪華さが、心に残っていたそうです。私たち協力隊も、制作の様子を拝見。多くの方がダリアを手に取り、じっと眺めて「きれい」と言ってくれているのを見て、とても嬉しく思いました。ハウスで何とか寒さに耐えて咲いてくれた最後の花たち。明るい舞台でホッと安心して見えるような表情に見えました。

地域おこし協力隊トピックス いなめさ （有村さんが3年目に突入・新嘗祭に参加）

みなさん新年あけましておめでとうございます。私事ではありますが、12月1日付けで地域おこし協力隊の任期も3年目になりました。宮田町長から委嘱状をいただくことができ身が引き締まる思いです。この2年間たくさんの方にお世話になりました。みなさんに少しでも恩返しできるようにこの1年間を過ごしてきました。どうぞよろしくお願いいたします。



新嘗祭に参加（有村さんは左から2人目）

【新嘗祭】昨年の11月には、東京の明治神宮で行われた「新嘗祭」に参加させていただきました。第44回福島県花き品評会で農林水産大臣賞を受賞した関係でご招待いただきました。私たちが出品したダリアは「天涯」という橙色の巨大輪のダリアです。埴町のダリア生産の技術と情熱が実った花でした。新嘗祭は古くから伝わる国の行事で、その年にとれた作物に感謝する感謝祭のような意味合いがあるそうです。会場には多くの野菜や米や肉、魚でできた宝船がまつられ、農林水産関係者が多数出席されていました。そのような式に出席できたことは生産者としてとても栄誉なことです。これからも、「はなわのダリア」が評価され喜ばれるような花づくりに、少しでも尽力できるよう努めていきたいと思ひます。（記・有村）



若い学生さんたちや田舎暮らし希望のご夫婦のパワーでハウス1棟の球根掘りが完了！

地域おこし協力隊



有村明希子さん（左）と川村空也さん（右）

【農泊体験ツアー球根掘り体験】冬のはじめの地味な作業も、12月9日（日）は大盛り上がり。東洋大学観光学部の学生さんを中心とした農泊体験ツアーに参加者18人が球根掘り体験に来てくれました。慣れない大きなシャベルも豪快に足でぐっと踏み、土ごと球根をよいしょ！「どんどんいぐぞー」と、コツをつかんで軽々と掘りあげていく若者たち。サプライズで花束をプレゼントしたら大歓声で喜んでくれました。若いってすばらしい！（記・川村）



中学生の部 最優秀賞
「将来の夢」

塙中学校1年 鈴木七海さん

平成30年11月10日(土)に開催された「第34回塙町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)

看護師になる。私の夢です。一人でも多くの人に寄り添っていきたくと思っています。そのためには、今の社会や患者さんとの接し方について知りたいと思いました。

みなさんは「2025年問題」を知っていますか。2025年問題とは、団塊の世代と呼ばれる1945年から1949年生まれの人たちが一気に後期高齢者となる問題です。

想像してみてください。三人に一人が65才以上、四人に一人が75才以上となる社会を。そんな社会があると10年足らずでやってきます。すぐそばまで迫ってきているのです。私はこのこと

を知って、驚きました。少子高齢化とは、よく聞いたものですが、こんなに危機的な状況だったことに気付いていませんでした。

こんな社会で、どんなことが起こるのでしょうか。考えられるのは、医療や介護の需要がさらに増加するということです。

しかし、少子化に伴って、看護学生の確保が難しくなることが考えられます。患者さんが増えていくのに、看護師が減ってしまうと、一人の看護師がたくさんの患者さんのケアをしなくてはなりません。

また、高齢化が進んでいくと、多くの人が亡くなったり、長い

人に寄り添いたい、心の支えになりたい。そして患者さんから信頼され、心を救うことができるような看護師になりたい。

闘病生活を送ったりすることに なります。高齢の患者さんはどれほど寂しい思いをするのでしょうか。

私は小学生の時に、「祖父 参観」という行事を通して、高齢の方とふれあいました。去年はしめ縄と一緒に作りました。難しい作業でしたが、とても優しく、丁寧に教えてくれたことが印象に残っています。そんな優しい方々が寂しい思いをするなんて、やりきれない思いがこみ上げます。

人に寄り添いたい、少しでも心の支えになりたいという思いは、このような体験から生まれていたのかも知れないと、今は思います。

また、私が看護師になりたいと思ったのは、身近な人の存在があったからでした。その人は、前は工場で働いていたのですが、おとしから看護学校へいき、勉強していました。去年、試験に合格したその人は、今では看護師として働いています。その姿はとてよかっことよくて、「私もあんな風になりたいなあ」と思いました。そして、その人を超えるような看護師になる。と

いう目標もでき、絶対に叶えたいと思っています。

その人とは、私の母です。母は工場で働いているとき、「物と向き合っていて関わっているより、人と関わっていた方が、やりがいがあるかな」と思ってやってみようと思ったそうです。私も母のように、人との関わりの中でやりがいを見つけたかと思っています。看護師は、手術をしたり、診察をしたりはしませんが、医師よりも長く患者さんと時間を過ごします。だから、心を救うことができると思うのです。

心の支えになれたり、笑顔の源になれたりすると、患者さんや、その方のまわりにいる人から信頼される看護師になれると思います。患者さんから信頼され、心を救うことができる。そんな看護師が増えることを私は願っています。そして、私もその一員となれるよう、夢を叶えるためにがんばりたいです。

私は、大人になってから、塙町に帰ってくるかは分かりませんでした。でも、どこで暮らすことになったとしても、地域に貢献できるような看護師になりたいです。

平成30年11月10日(土)に開催された「第34回塙町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)

「もう、いやだ。どうして、拾っても、拾ってもちっともきれいにしないの。どうして、ゴミを捨てるの。許せない。」と、叫んでしまいました。

私の居住区では、毎年、ゴミ拾い活動を行っています。この一つの活動から大きなことを学びました。それは、「ゴミと自然」についてです。ある時、ゴミ拾いの活動でまっすぐ歩いていると、その先には、たくさんのゴミが落ちていました。それを見た瞬間、すごく心が痛くなりました。「なぜ、こんなにゴミを捨てる人がいるのだろうか。なぜ、自然を汚してしまうのだろうか。」と次々と疑問が浮かんできたのです。ビニール袋や紙袋など、落ちていくゴミを拾い上

げると、下にはたくさんの小さな虫がいて草花が咲いていました。また、川の中にゴミが捨てられていました。虫は、小さな体でむくむく動いていました。花は、少し土色に染まりながら、きれいな色をしていました。こんなに小さな生き物や植物、川でも、たった一つのとても大切な命があり、一生懸命に生きていくのだと感じました。そして、大きなゴミにつぶされている虫や花、草や汚されている川の気持ちになって考えてみると、すごく苦しい気持ちでいっぱいになりました。なぜなら、これらは、ゴミが重くて苦しい時も、悲しい時も人間に通じる言葉で助けを求めることができなからです。人間ならすぐに、「重い、

私たち人間は、自然に何をしてあげられるのだろうか。自然に生かされていることを忘れず、気付き、行動しなければならない。

誰か助けてくれ。誰か、ゴミをどかしてくれ。」と叫ぶはずでした。そこで、私は、自主的にゴミ拾いすることを決心しました。場所は、病院や駅周辺のゴミ拾いしました。朝5時に起きて活動しました。この時間にしたら理由は、「少しでも、きれいになつた状態で、気持ちよく駐車場を使ってほしい。」と思ったからです。活動を始める前は、「どれくらい落ちていくのだろうか。」と思いつながら、大きな袋を持ち、軍手をして「今日も、きれいにするぞ。」とわくわくする気持ちで取り組みました。終わった後は、想像以上に袋がパンパン。とっても重くて、自分でもびっくりしました。また、学校がある日は、登下校する道のゴミを拾っています。その中でもっとも多かったのが、たばこの吸いがらです。拾ったゴミは、手で持ち帰り、家で捨てるようにしています。どの場所も利用する人が歩きやすく、きれいな環境でいられるように心を込めてゴミ拾いしました。

このような体験から、私たちと自然との関係について考えるようになってきたのです。「自然は、私たちに恵みを与えてくれている。私たち人間は、自然に何をしてあげているのだろうか。」

か。」と考えました。

人間は、言葉で通じ合える生き物です。うれしいときは、「ありがとう。」悪いことをしたら、「ごめんなさい。」ということが出来ます。自然は、言葉で伝えることはできません。だから、汚れた環境を見たら人間が気づき、行動しなければならぬのです。自然から与えてもらっているからではないのです。私たちが、こうしてきれいな空気を吸い、明るく、健康で、生活を送ることができているのは、「自然」のおかげなのです。みなさんも、もう一度「自然」の身になって考えてみませんか。

小さな花のかれんさ、やさしい風の気持ちよさ、とてもおいしいきれいな水、このように私たちの生活に欠かせない存在である「自然」は、「一寸の虫にも五分の魂」と同じということ。3mmほどの小さな虫でも、体の半分ほどの魂があるのだから、どんなに小さな生き物でも決して、そまつにはしてはいけません。

だから、自然に感謝することを忘れてはいけません。私たち人間は、自然に生かされています。そこに一つの思いをよせて拾ってみませんか。どんな小さなゴミでも。



小学生の部 最優秀賞
「一つの思い」

塙小学校6年 加藤の乃かさん

平成30年11月10日(土)に開催された「第34回埴町青少年の主張大会」の最優秀賞受賞作品をご紹介します。(原文のまま)



高校生の部 最優秀賞
「ミツバチと人の未来」
修明高校2年 二瓶 隆一郎さん

近年の環境破壊の影響によって多くの資源、動植物が消滅の危機を迎えています。地球の資源を20年後、50年後、100年後と残していくために、私たちは責任ある行動を今まで以上に求められています。私は高校生になってから地球環境に強い関心を抱くようになりました。そのきっかけは、ニュースで絶滅危惧種が増加しているという報道を耳にしたことです。なぜこのようなことが起こっているのか、その後部屋に戻ってからも何かすっきりしませんでした。おもむろにスマートフォンを手に取り、インターネットで調べてみると、実に様々な情報が載っていました。その中のミツ

私たち人間の生活に大きく関わっているミツバチ。豊かな自然を守るために、他人任せではなく私たちから始めませんか。

類の花を飛び回り受粉を繰り返して、果実を実らせる役割を担っています。皆さん想像してみてください。ミツバチが絶滅し、数年後、スーパーマーケット等に果実・野菜が全く並んでいない異様な光景を。人類がミツバチから受ける恩恵の大きさが実感されます。また、ミツバチの役割は人間に対することだけでなく、ミツバチの受粉によって維持されています。もし、森が消滅してしまうと豊かな養分を含んだ川の水が消え、海も死んでしまうことにつながる。こんな過酷な未来が今の私たちに待ち受けています。ミツバチという小さな昆虫に焦点を当てることにより、地球の生態系のシステムの緻密さともろさが露呈します。もしかすると、私たちは複雑で豊かな生態系の中で生かされているという事実に気づかない、いや、知る機会も得られない恐ろしい状況を生きているのではないのでしょうか。

このような状況下でも私たちはできることが二つあります。一つ目は花を植えることです。これは個人でも埴町という町ぐるみで行えることだと思います。私たちが自主的に花を植えることにより、ミツバチが喜び、町も美化される。地球環境と町の景観両方にとって良いことです。

二つ目は除草剤を購入する際に注意することです。一部の除草剤にはネオニコチノイドと呼ばれる物質が含まれており、この物質が昆虫の神経系を狂わすといわれています。ミツバチがこの物質を取り込んでしまうと脳の機能に障害が出はじめる方向感覚を失い巣に戻ることができなくなってしまうのです。ネオニコチノイド系の除草剤を使用しないことはミツバチの保全につながります。このように私たちの身近にも自然環境のためにできることは意外にもあるものです。

生態系という広く深い世界を探索し、自然という複雑なシステムを理解していく。このことは地球における人間という存在を見直すことにつながります。人間に比べて本当に小さなミツバチ。しかし、ミツバチの働きは生態系、人間にとって不可欠で大きなものです。地球のために、埴町の豊かな自然を守るために、今、何ができるのか。他人任せではなく、まず私たちから始めませんか。

今年も健康な体で過ごしたい。皆さん共通の願いではないでしょうか。医療機関を受診した方、食習慣を見直したい方、健診結果をもとに健康な生活を送る工夫を今一度考え、有効活用しませんか。

■結果は「組み合わせ」で判断

健診結果は、検査項目ごとに臓器や血液の状態を表しています。腹囲、体重、血圧、糖、脂質などの項目は、体のバロメーターの基本となる項目で、メタボの判定にも使われます。生活習慣病の芽を見つけたら、1つの項目だけで判断せず、検査項目をいろいろ組み合わせることで動脈硬化の進行具合を推測します。



健診を毎年受けることで体の変化が分かります

■基準値を外れたら要注意

さて、あなたは基準を少しだけ外れた検査項目があった場合「いつもこれくらいだから」、「たまたまだから」と思うタイプですか。先ほども述べましたが、基準値を少しだけ外れたとしても、その項目の数が多いほど「自分の体が生活習慣病のサインを出し始めている」ことに気付い

てください。【要精検(検査や治療が必要)】の方は、必ず医療機関を受診して確認してもらいましょう。【要指導】の方は、すぐに生活習慣の見直しを始めましょう。【異常なし】の方は、現在の生活習慣を維持しましょう。

■健診は毎年受けることが大切

病院での保険診療は、症状が出ている特定の病気とその関連の範囲で診察しています。つまり、健康保険は健診のように広く調べるのではなく、問題があるところを診断したり、治したりするために使われる仕組みです。そのため、病院に入院している、健診を受けて自分の体を広く調べておくことが大切です。去年より健康な体を手に入れる1年にしませんか。

■健康相談会が始まります

1月10日(木)から各地区で健康相談会を開催します。今年のテーマは「動脈硬化を防ぐ」です。気になる「血管年齢測定」や、「家庭の「みそ汁塩分濃度測定」も実施します。開催日程は、回覧やHP放送、町のホームページでご確認ください。

■問い合わせ

健康福祉課 健康推進係
☎(43) 2115

新刊案内



「ほんのきもち」
朝吹真理子他 / 著 (扶桑社)

「ほんの(少しの)気持ちです」...。贈り物をするとき、人はそこにほんの少し自分の気持ちを含ませる。愛しくて、おかしくて、ちょっと切ない16の小さな贈りものがたり。

(著者:朝吹真理子、彩瀬まる、いしいんじ、乾ルカ、オカヤイツミ、甲斐みのり、鹿子裕文、木血泉、今日マチ子、小林エリカ、坂本司、桜木紫乃、佐藤ジュンコ、平松洋子、藤野可織、文月悠光)

【図書館の開館・休館情報(1月)】

■開館時間 火曜日から土曜日・・・午前10時から午後7時まで
日曜日・祝日・・・午前10時から午後5時まで
■休館日 12月29日(土)から1月4日(金)、7日(月)、15日(火)、21日(月)、28日(月)、31日(木) ※月末整理日



「おばあちゃんのななくさがゆ」
野村 たかあき / 作・絵 (校成出版社)

●ものがたり

せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ。七草粥の由来から、実際に作って食べるまでが分かる、おばあちゃんの行事食シリーズです。家族みんなで行事食を楽しく学ぶことができます。

図書館情報

1月のテーマ

お正月・いのししの本

図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月も、その中から二冊の本を紹介いたします。なお、読みたい本が貸し出し中の場合、予約もできます。(☎43-0808)



若鷹の活躍光った2018年



部活動でも柔道部をはじめ空手部、剣道部、ソフトテニス部が県大会に出場しました



資格取得にも積極的に取り組み、普通旋盤作業技能士や危険物取扱者試験にも多くの生徒が合格しました

創立70周年に大活躍

創立70周年を迎えた2018年、本校生はさまざまな活躍をしました。4月には入学式が挙行され、電子科に8人、機械科に32人の新たな塙工業高校生が誕生しました。5月には、福島県高等学校体育大会県南地区予選が開催され、柔道部、空手部、剣道部、ソ

フトテニス部が県大会に出場しました。

部活動だけでなく、資格取得にも積極的に取り組み、普通旋盤作業技能士、危険物取扱者試験にも多くの生徒が合格しました。夏休み明けの9月には、福島県高等学校ロボット競技大会で、電機部のチーム「オリオンズ」が準優勝に輝き、6年ぶりの全国大会に出場しベスト16、和太鼓部が「太鼓祭 in なとり北日本大会」で準優勝に輝き、2年連続で日本一決定戦に出場し、5位になり全国に塙工業高校の名を轟かせました。



全国ロボット競技大会でベスト16

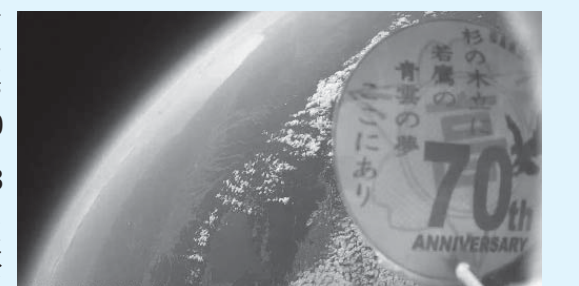


70周年記念式典



産業祭にも出展

また、課題研究でもスペースバルーンを使った成層圏からの地球撮影は、大きな話題となりました。そして、10月には、2学年の修学旅行、インターシップが行われました。



各方面で話題となったスペースバルーンを使った成層圏からの地球撮影。70周年記念のステッカーを付けて飛ばすこともできました。最高高度は2万5千メートルまで到達。

塙工高和太鼓部 日本一決定戦で2年連続の5位

—太鼓祭 in ソニックシティ日本一決定戦に出場—

塙工高和太鼓部は、12月9日（日）に埼玉県さいたま市で開催された「太鼓祭 in ソニックシティ 日本一決定戦」の組太鼓一般の部に出場しました。全国各地から9団体が出場し、審査員と一般観客による投票が行われました。結果は、2年連続で5位でしたが、昨年度より得票数を上回ることができました。塙工高和太鼓部らしい力強い迫力のある演奏で、会場を魅了することができました。



太鼓祭日本一決定戦に出場し5位となった和太鼓部

税務だより

償却資産の申告は1月31日までです。

固定資産税は、土地や家屋のほか、償却資産にも課税されます。町内に償却資産を所有されている方は、平成31年1月1日現在の状況を申告してください。

償却資産とは

事業を営んでいる会社や個人が、その事業のために所有している土地（や家屋以外の事業用資産（機械、器具、構築物など）のことです。

■償却資産の一例

【構築物】

舗装路面、広告塔、プレハブ式事務所、ビニールハウス、豚舎、鶏舎、牛舎など

【機械および装置】

電気・化学・建設・印刷機械、加工修理などに使用する機械など

【車両および運搬具】

大型特殊自動車、自転車、荷車など

【工具器具および備品】

机、イス、ロッカー、金庫、応接セット、陳列ケース、キャビネット、レジスター、複写機、厨房用品、看板など

■申告対象にならない償却資産

- ・耐用年数1年未満の資産
- ・少額償却資産（取得価額が10万円未満の資産で、法人税法などの規定により一時に損金算入されるもの）
- ・一括償却資産（取得価額が20万円未満の資産で、法人税法の規定により3年間で一括して均等償却するもの）

申告は義務付けられています

償却資産は、地方税法383条によりその所有者に対して申告が義務付けられています。免税点（※）であっても申告は義務付けられています。

※免税点とは

申告により課税標準額が150万円未満の場合は、償却資産に対する課税はありません。

申告の方法は

1月1日時点で町内に所在・所有している償却資産（自己所有および他者へ貸し付けしているものも含む）の内容を、「償却資産申告書」種



別明細書（増加・減少）など所定の様式に記載して提出してください。なお、増減の無い場合や廃業・解散の場合でも、その旨を申告書に記載し、提出してください。

申告に必要な書類は、12月下旬に郵送しています。申告が必要な方が必要書類が届かない場合は、ご連絡ください。所定の様式は、塙町のホームページでもダウンロードすることができますので、必要な方は、ぜひご利用ください。

■申告期限

1月31日（木）

※申告期限間近になると混雑しますので、1月18日（金）までの申告にご協力ください。

■提出先・問い合わせ

町民課 課税係
☎（43）2113

申告は忘れずに





はなわスポーツクラブ通信1月号

はなわスポーツクラブでは、ひとりでも仲間同士でも参加できる教室を開催しております。お気軽に見学におこしください。

第7回塙町長杯カローリング大会兼第9回B&G塙海洋クラブカローリング大会 参加チーム募集

この大会は、はなわスポーツクラブが平成24年に福島県代表として全国大会に出場したことを記念して開催しています。カローリングに似ているルールはとて簡単です。初心者でも気軽に取組めますので、みなさんの参加をお待ちしています。

日時：平成31年1月18日(金)午前9時30分
場所：塙町営体育館アリーナ
参加費：無料(3人1組でお申し込みください)
締切日：平成31年1月10日(木)



新春バドミントン大会 参加者募集

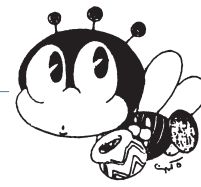
バドミントン用具をスポーツクラブで準備します。スポーツクラブ会員以外の方も参加できますので、ぜひご参加ください。当日参加もOKです。

日時：平成31年1月24日(木)午後7時
場所：塙町営体育館アリーナ
参加費：100円



ノルディックウォーキング サンタさんがいっぱい

12月16日(日)、ノルディックウォーキング教室-サンタウォーカーを開催しました。町営体育館を出発し、磐城塙駅~エコス~リオンドール~道の駅はなわ~体育館までの往復約3キロメートルのコースを、参加者のみなさんはサンタクロースの帽子や衣装など、赤い物を身に付け、それぞれに楽しみながら歩きました。



マナビいはなわ

~塙町生涯学習だより~ 1月号

発行：塙町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎43-2644

■塙町公民館

☎43-0320



飾り付けも自分たちで

12月14日(金)の塙町子ども教室「クリスマスマス会」には、15人の小学生が参加し、前回決めた内容をもとに、パーティー会場の飾り付けやゲームの進行などを行いました。自分たちで運営に関わったことにより主体性が生まれ、どのメンバーもパーティーを張り上げようと、一生懸命頑張っていました。パーティーの目玉であるケーキ作りでは、3班に分かれ、思い思いに飾り付けをしたクリスマスケーキを、おいしくいただきました。子ども教室は、月2回、塙町公民館台宿分館を主な会場として活動しています。活動内容は、季節の伝統行事やサツマイモの栽培などの体験活動が中心です。新年度の教室の募集は平成31年4月からです。



サンタさんと一緒に記念撮影



大きなお口でケーキをあーん♪



これは?こんにやくだー!

塙町子ども教室 みんなのクリスマス会 準備もゲームもケーキ作りも、みんなで協力したよ!

はなわ探検隊クリスマスパーティー 楽しみながらバランスのいい食事の大切さを学びました♪

12月1日(土)、はなわ探検隊第7回活動『クリスマスパーティー』を塙町公民館で開催しました。今回の活動には、探検隊38人と高校生ボランティア17人が参加し、6班に分かれて、ミニゲームを楽しみ大いに盛り上がりました。

その後、福島県栄養士会のスタッフと高校生ボランティアが作ったカレーとサラダ、スープのバランスのとれた食事を参加者全員でいただきました。また、クリームやイチゴを飾り付け、イチゴのショートケーキを作りました。ゲームで獲得したトッピング用のお菓子も使って、班ごとに工夫した楽しいケーキを味わいました。

最後に、デザートと主食の関係やおにぎりの作り方、よく噛んで食べることの大切さなどを、福島県栄養士会の三森美智子先生にご指導いただき、楽しいだけでなく食べることの大切さを学んだクリスマスパーティーになりました。



マシュマロキャッチゲーム

1月は「たこ作り!」参加者募集中♪

1月のなかよしルームの活動は、「たこ作り~みんなでたこあげをしよう!~」です。ストローとビニール袋を使って、軽くてよくあがるたこを手作りして、みんなで楽しみましょう!

日時：1月18日(金) 午前10時から11時30分

集合場所：塙町公民館2階和室

費用：無料

持ち物：おやつ・飲み物・長靴

申込先：塙町公民館 ☎43-0320

申込期限：1月16日(水)

※たこ作りの材料を用意するため、事前の申し込みをお願いします。



12月14日(金)の「クリスマス会」には、15人の小学生が参加し、前回決めた内容をもとに、パーティー会場の飾り付けやゲームの進行などを行いました。自分たちで運営に関わったことにより主体性が生まれ、どのメンバーもパーティーを張り上げようと、一生懸命頑張っていました。パーティーの目玉であるケーキ作りでは、3班に分かれ、思い思いに飾り付けをしたクリスマスケーキを、おいしくいただきました。



地元野菜のシチューをいただきました

子育て講座「なかよしルーム」 みんなでパーティー楽しかったね!

いますぐ検索!

携帯電話からでもアクセスできます

はなわスポーツクラブ

検索

HP内ブログにて、日々の活動の様子をアップしています。



NPO 法人はなわスポーツクラブ

<http://hanawa-fsc.jp>

塙町大字塙字桜木町80(塙町営体育館内)

☎0247-57-6589 FAX57-6587

mail:hanawa.fsc@gmail.com

平成31年成人式を挙行政

成人される方の新しい門出を祝い励ますため、下記のとおり成人式を挙行政します。対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日の間に生まれた方で、塙町に住居登録してある方および塙町出身の方です。

日時：1月13日(日)午前10時(受付は午前9時から)
会場：塙農村勤労福祉会館(役場庁舎北側)



平成30年の成人式

文化財防火デー火災防訓練を実施します

塙町の貴重な文化財を火災などの災害から守るため、第65回文化財防火デーに伴う火災防訓練を実施します。当日は訓練のため、サイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。

訓練対象物：薬王寺薬師堂(台宿)

実施日時：1月27日(日) 午後1時30分

問い合わせ先：生涯学習課

☎43-2644



昨年の訓練で消火訓練をする住民

毎年1月26日は「文化財防火デー」

神社やお寺、お堂や仏像など、私たちに身近には貴重な文化財がたくさんあります。1・2月は、一年のうちで最も火災が発生しやすい時期です。これらの歴史遺産を火災で失わないためにも、一人一人が防火意識を持ちましょう。

情報くらしの

◆ 埴町役場の電話番号 (代表)
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116
◆ 町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
◆ 町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】
総務課 43-2111
町民課 43-2113
43-2114
健康福祉課 43-2115
包括支援センター 43-2224
43-2227
まち振興課 43-2112
43-2118
まち整備課 43-2117
生活環境課 43-2148
会計室 43-2149
埴保育園 43-0377
議会事務局 43-2150
農業委員会 43-2119
学校教育課 43-4050
生涯学習課 43-2644
公民館 43-0320
図書館 43-0808
給食センター 43-0188
東白衛生組合 43-0378

相談

消費生活の悩みごとは
ありませんか

まち振興課

東白川郡内の消費生活相談会を開催しています。消費生活の悩みごとや分からないことなど、専門の相談員が対応します。お気軽にご相談ください。

日時
平成31年1月17日(木)
午前10時から午後4時

場所
埴農村労働福祉会館

問い合わせ
白河市消費生活センター
☎0248(22)1133

視覚障がい者の教育相談
福島県立視覚支援学校
疾病などによる視機能低下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損など)で、就学や進学、就労でお困りの方の教育相談・支援相談を行っています。

開催日
月曜日・水曜日・金曜日
午前9時から午後4時

対象者
乳幼児から成人の方まで

相談・問い合わせ
福島県立視覚支援学校
☎024(534)2574

多重債務・貸金業などの相談窓口を開設しています
福島財務事務所
福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応

じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。また、地域のコミュニティ活動や各種団体の会合などにお伺いし「おこづかい帳をつけよう(小学生向け)」「日本の財政を考えよう(一般・高齢者向け)」「金融犯罪(なりすまし詐欺など)被害防止」など、さまざまなテーマで出前講座を行っております。費用は無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

受付時間

月曜日から金曜日
(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分から午後4時30分
(午後12時から午後1時は除く)

多重債務相談電話番号
☎024(533)0064

問い合わせ
福島財務事務所
☎024(535)0301

原子力損害賠償に係る巡回法律相談
県南地方振興局

福島県では、福島県弁護士協会、福島県不動産鑑定士協会と連携し、無料の相談会を実施しています。請求手続きなどについて、不明な点など、どなたでもご相談いただけます。相談時間は30分で、事前の予約が必要です。

日時
平成31年2月21日(木)
午後1時30分から

募集

頑張る人を応援します
埴町奨学生

教育委員会

平成31年度埴町奨学金貸与奨学生を募集します。

対象者
① 埴中学校卒業で、埴町に、引き続き6カ月以上住所を有し、高等学校、専修学校、大学などに進学を希望、または現在在学している方で、品行正しく学術に優れ、心

身が健康な方
② 経済的理由で、就学が困難と認められる方
③ 他から奨学金の貸し付け、または給付を受けていない方

募集人数
選考の上、全体で3人以内

貸与額
・高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程)
月額：1万5千円以内
・大学(短大・大学院含む)、専修学校
月額：5万円以内
(私立大学は6万円以内)

出願締め切り
平成31年3月1日(金)

返済方法
高等学校・大学などを卒業した月の6カ月後から、月賦または年賦で、最高10年以内返済する。

問い合わせ
埴町教育委員会
学校教育課 管理係
☎(43)4050

介護福祉士養成科訓練生
福島県立テクノアカデミー郡山テクノアカデミー郡山では、求職中の方を対象として、国家資格「介護福祉士」の取得と介護福祉業界への正社員就職を目指すことを目的とした2年間の教育訓練を実施します。申し込み方法などの詳細は、お問い合わせください。

募集コース
介護福祉士養成科

訓練期間
平成31年4月から2年間

訓練会場
県内の介護福祉士養成施設

受講料
無料(テキスト代や保険代などは個人負担となります)

問い合わせ
福島県立テクノアカデミー郡山
☎024(944)1663

放送大学入学生
放送大学は、2019年4月入学生を募集しています。10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学んでみたいなどさまざまな目的で学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。資料を無料で差し上げていますので、お気軽にご請求ください。出願期間は、第1回目が2月28日(木)で、第2回目が3月17日(日)までです。

問い合わせ
放送大学福島学習センター
☎024(921)7471

チェックしましょう！福島県最低賃金

最低賃金の種類	最低賃金額(時間額)	発効日
福島県最低賃金	772円	平成30年10月1日
特定(産業別)最低賃金	輸送用機械器具製造業最低賃金	851円 平成30年12月14日
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業最低賃金	849円 平成30年12月15日
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金(医療用計測器製造業(心電計製造業を除く。))を除く。	815円 平成30年12月19日
	自動車小売業最低賃金(二輪自動車小売業(原動機付自転車を含む。))を除く。	848円 平成30年12月21日
非鉄金属製造業最低賃金(据え置き)	847円	平成29年12月16日

問い合わせ 福島労働局賃金室 ☎024-536-4604

おくやみ申し上げます

11月16日から12月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
白坂 フミキ	90歳	上 渋井
今井 トクキ	95歳	竹之内
鈴木 新次キ	72歳	湯 岐
近藤 イエキ	87歳	常世北野
菊池 ハツエキ	89歳	片 貝
神永 モトキ	95歳	山 形
鴨志田 友良キ	79歳	植 田
金澤 桂子キ	86歳	植 田

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出てください。

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

(町内35カ所)			片貝分館
			12/13 0.08
埴町役場	西河内分館	折籠集会所	12/13 0.08
12/13 0.07	12/13 0.06	12/13 0.08	
道の駅はなわ	堀越集会所	殿畑集会所入口	12/13 0.09
12/13 0.07	12/13 0.09	12/13 0.09	
上渋井集会所	小高集会所	石堀子集会所	12/13 0.08
12/13 0.08	12/13 0.08	12/13 0.08	
台宿分館	東河内分館	矢塚集会所	12/13 0.08
12/13 0.08	12/13 0.07	12/13 0.08	
稲沢集会所	一本木集会所	那倉分館	12/13 0.09
12/13 0.09	12/13 0.09	12/13 0.09	
上石井分館	中塚集会所	大平・大竹・正藤さん宅入口	12/13 0.07
12/13 0.07	12/13 0.07	12/13 0.07	
吉成運送第2倉庫前	笹原地区公民館	郡倉呼石入口バス停前	12/13 0.10
12/13 0.09	12/13 0.07	12/13 0.10	
伊香分館	川上四区集会所	田代権現堂	12/13 0.10
12/13 0.08	12/13 0.10	12/13 0.10	
古宿屯所前	大蔵分館	田代分館	12/13 0.10
12/13 0.09	12/13 0.10	12/13 0.10	
高城地区公民館	前田集会所	丸ヶ草分館	12/13 0.08
12/13 0.08	12/13 0.08	12/13 0.06	
真名畑分館	木野反分館	単位： マイクロシーベルト/時間	
12/13 0.10	12/13 0.08		
常豊地区公民館	湯遊ランドはなわ	地上1階で測定	
12/13 0.07	12/13 0.07		

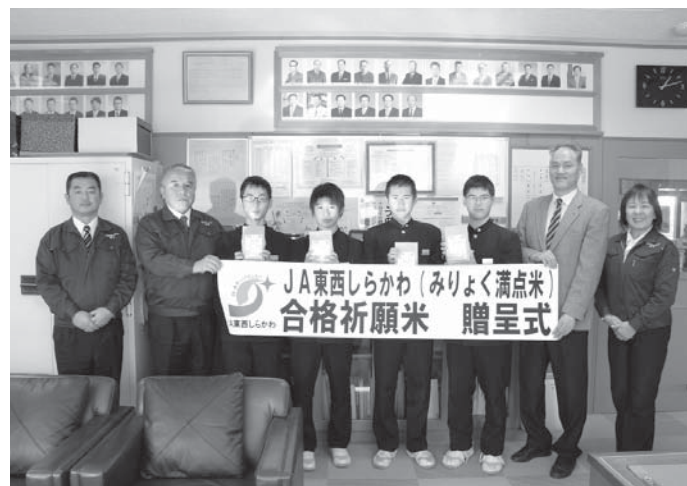
※測定機器：シンチレーションサーベイメータ 日立アロカ TCS172
※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

Town Topics

みりよく満点米で志望校合格を祈願

—JA東西しらかわが受験生に合格祈願米を贈呈—

12月11日(火) JA東西しらかわから埴中学校3年生70人への合格祈願米「みりよく満点米(1人1*₀)」贈呈式が、同校校長室で行われました。高校受験を控えた3年生の合格を祈願し、山本不動尊(棚倉町)で祈祷を受けたお米が、代表生徒4人に贈呈され、池田倭太さんが「祈願米に込められた思いを大切に、本番に向けて頑張ります」と、お礼の言葉を述べました。平成21年から管内の中学3年生を対象に行われている合格祈願米の贈呈。皆さん、志望校合格を目指して頑張ってください。



生徒を代表して合格祈願米を贈呈された荒川響さん、緑川真人さん、池田倭太さん、吉成康晴さん(⑤から3・4・5・6)

大縄暁子さん NHKのど自慢チャンピオンに

—母に褒められた「恋人よ」をうたい上げる—

11月25日(日) 古殿町で開催された「NHKのど自慢」に出場した「寿司アリス(代官町)」の大縄暁さんが「恋人よ(五輪真弓)」をうたい上げ、6人の合格者から見事にチャンピオンに選ばれました。大縄さんは「NHKのど自慢」に出場するために、約600人の応募があった書類選考と、それを突破した250人による歌を披露する予選会を見事にクリアし、本番出場の20組に選ばれました。迎えた本番では9番目に登場。亡き母に「一番合っている」、父にも「自分の18番でいってこい」と言われた「恋人よ」を熱唱し「とても緊張しました。自分では60点くらいの出来で納得はしていませんが、感無量で素直にうれしい」とチャンピオンになった喜びを語りました。大縄さんは、その週のチャンピオンになったことで、3月上旬に予定されている「NHKのど自慢チャンピオン大会」に出場する可能性が生まれました。全チャンピオンで15組程度しか出場できない狭き門ですが、大縄さんは「心」でうたって誰かの気持ちに寄り添い、人を幸せにできる歌をうたいたい。応援してくれる人たちに、歌で恩返しをしたい」と語り、吉報を待っています。また、12月19日(水)には、大縄さんが埴町社会福祉協議会を慰問し、「恋人よ」を含む3曲が披露されました。その歌声を聞いた利用者さんからは「心に響く歌声で、涙が出るほど感動した」などの感想があり、大縄さんに大きな拍手が送られていました。



NHKのど自慢で見事チャンピオンに輝いた大縄暁子さん



埴町社会福祉協議会を慰問し「恋人よ」を含む3曲を披露した大縄さん。その歌声に利用者さんはとても感動していました



ポーズもばっちり決まりました



サンタさんをお願い叶えてもらえるかな



ダンスも上手くできました



かわいらしい姿

懸命に頑張る姿に大きな拍手

—埴保育園でおゆうぎ会—

12月8日(土) 埴保育園のおゆうぎ会が同園で行われました。第1部では、園児がこの日のために一生懸命練習してきた歌や体操、ゆうぎが披露されました。カッコいい衣装やかわいらしいしぐさに、会場に集まった保護者たちからは、大きな拍手が送られていました。第2部では、職員や保護者会によるお楽しみ会があり、ダリちゃんのサプライズ登場やサンタさんからのクリスマスプレゼントが贈られ、園児と保護者は、楽しいひとときを過ごしました。



友達と声をそろえて一生懸命頑張りました

鮮やかな光が街を包み込む

—街なかイルミネーション点灯式—

12月3日(月) いいきいき・街きらきら活性化実行委員会によるイルミネーション点灯式が、役場駐車場で行われました。今年で10回目となった点灯式では、佐々木勇人副会長があいさつをし、宮田町長をはじめ、関係者の手によりスイッチが押され、街路樹に取り付けられたLED電球が一斉に点灯しました。このイルミネーションは、1月末まで点灯され、町の玄関口として光り輝き、町を訪れる人たちを温かく迎えてくれます。



関係者の手により一斉にスイッチが押されました



このコーナーでは、東京協会の皆さんの住む街のことや近況について紹介しています。

私の住む街Now

大野 伸夫さん

神奈川県横浜市在住（川上出身）

-Vol.46-

私の住む横浜

埴町の皆さま、東京協会の皆さま、こんにちは。私は、川上清水の出身です。故郷を離れてから、漫談家の綾小路きみまろの言う「あれから40年」どころか50年以上で、埴町で過ごした年数よりも何倍もの月日が経ちました。私が就職で東京に来た年は、東京五輪の3年前で、東京の中心部は工事現場がいっぱいでした。その後、首都高速道路羽田線や国立競技場ができて、1964年10月10日の五輪開催日、東京の青い空に五輪のマークがジェット機で描かれた

のを今でもよく覚えています。あれから56年後の2020年に、また東京でオリンピックが開催されるのは、なんとうれしいことかと思っています。

振り返れば、1976年に横浜市に来て、その後なんと横浜の変わったことか。あのころの横浜駅の東側は、三菱造船の大工場地帯と大型船のドックで、海は全く見えなかったのを覚えています。今の横浜駅周辺は、みなとみらい地区に大型ホテル、遊園地など大きく変化しています。私は、横浜に住む田舎者（田舎っぺ）で、我が街横浜のことはよく知らないことの

方が多いです。みなとみらい地区や港の見える丘公園、山下公園、そこに係留されている大型客船氷川丸など遠くから見るだけで乗ったこともないし、また南の方へ行けば駅員も運転手もない電車シーサイドラインや八景島の大水族館も入ったことがありません。その近くの三溪園は、有名な昔の建物が多くあり、2回くらい行った記憶があります。はるか昔、中学校の修学旅行で藤沢市の江の島からの帰りに、磯子区の山の上に、歌手美空ひばりの家があったのを今でもよく覚えています。今は、大きなホテルが建っていますね。

私も国際都市横浜市に住んでいるのだから、誰でも知っている中華街やベイブリッジなど、いろんな所へ行って、見て聞いてもっともっと横浜に愛着を持って見ようと思うこの頃です。国際都市横浜に住んでいることを、もっと誇りに思わないといけませんね。

【今回は、東京都狛江市在住の北郷忠さんです。】

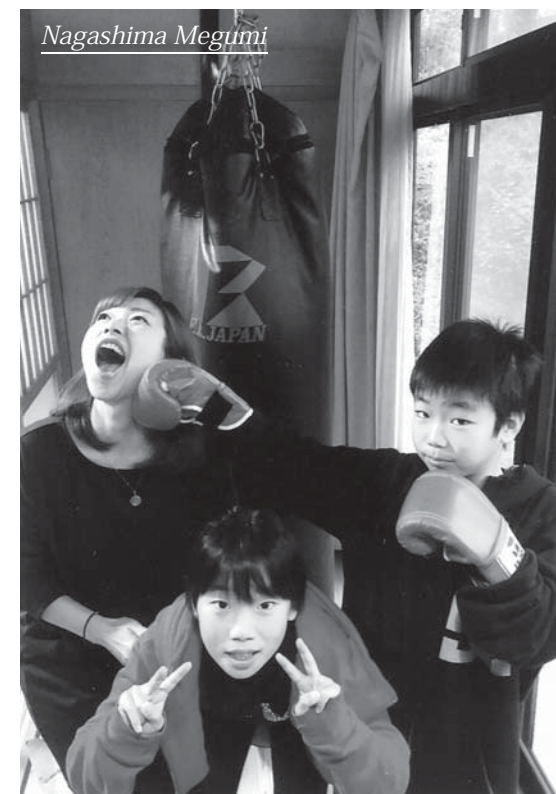
随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

-Vol. 350-

ながしま めぐみ
長島 恵美さん(上石井)

職 業：主婦
趣 味：模索中
好きな言葉：ポジティブ・十人十色



「笑いと涙と成長と」

まさかまさか、平成最後の（↑言いたいだけ笑）年の始まりが私でいいの。と一瞬考えましたが、ま、いっか♪かわいい子ちゃん（古い!?）からの頼みだし♪と早々に開き直り。

さて、いざ書くとなると、何を書いたらいいのやら。子どもたちの成長でも書こうか。とも思いましたが、それは年頃の子どもたち。「余計なことを書くなよ！」と怒られるのが目に浮かび、やめやめ。主人には、初めから「俺のことは書くなよ！」と言われていたので、やっぱりダメダメ。と思っているうちに、こんなに文字数を使っているうちに、そろそろ広報担当者さんにお叱りを受けるかなと。

さてさて、皆さま。野球は好きですか。夏の甲子園（真冬に真夏の話笑）見ましたか。甲子園が始まると、子どもたちの宿題を後回しにし、テレビの前へ。1プレーごとに一喜一憂し、絶叫。そして涙。そして化粧がポロポロ（笑）。白球を追いかける

球児たち、カッコいいですよ。これだけ練習をしたら、こんなに上手になるんだと毎年思います。高校球児の成長を見届けたら、今度は夕飯の時間。「お母さんの作る料理はマジイ！」と言われ、また涙（笑）。でも、私の好きな言葉は「ポジティブ」。次は、すぐお腹が空いているときに食べさせよう♪とか、残ったものは全部私のもので♪とか考えてたけど、今思えば、その考え方って、自分が成長してない（笑）。

そんなこんなで、一番成長してないのは、この私でした（笑）。今年こそは、少しでも成長しないと！皆さま、私の成長を感じられないときには、一言お声をかけてくださいませ。

そして！こんな私に、最近とても素敵な友人ができました！人思いで、お祭り大好き！それでは紹介しましょう。鈴木舞さんです！どうぞ！

【今回は鈴木舞さん（台宿）です】

こんにちは赤ちゃん

11月16日から12月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住 所
和田 蒼矢くん	努	真美	11/22	台 宿



マチイロ

マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

android 用

ios 用

広報はなわをスマートフォンへ配信中

